

やけど

まず冷水で冷やす

やけどをしたときに、最も大切なことは、すぐ冷水(流水がよい)で冷やすことです。水で冷やすことが、痛みをとり、やけどを深くしないための最良の方法です。

チンク油、ジャガイモおろし、みそ、しょう油などを塗ることが、まだ行われているようですが、傷を汚染し、危険このうえもありません。

着衣は無理にとらない

着衣の上からのものは、そのままから冷やしてしまいます。水で冷やしながらか、シャツとか靴下などをとりますが、無理にとつてはいけません。無理に着衣をはがすと、水ぶくれがやぶれたりして、傷を汚染する結果になります。焼けて皮膚にくっついてとれないときは、ハサミで切りとって

ください。もつたいたいと考えると、治療が長びいたり、治療に支障をきたすことになります。痕を残さないためには、化膿させないことが大切。やけどには、程度によって1度、2度、3度、重体と分けてあります。大体の程度を知って正しい処理をしましょう。

(1度) 皮膚が赤く なつてヒリ ヒリする	痛みのとれ るまで冷水 で冷やす	①水道の水で冷やす(かけるのではない) ②冷水(1リットル重曹茶さじ)一杯を加えると効果がある ③化膿するようなら医師へ
(2度) 水ぶくれが 出来る	水ぶくれは 破らぬこと を注意	①水ぶくれをつぶさぬようにきれいな冷水で冷やす ②つぶれたらマージン液で消毒し、消毒したガーゼをあてて包帯 ③化膿しないように注意
(3度) くちやぐち やになる やけどける	チンク油な どはぬらな いこと	①きれいな水で痛みのなくなるまで冷やす ②油、薬、みそ、しょう油などを塗らずに医師のもとへ たとえ小さな場所でも
(重体) からだの20 %以上	15%以下な ら全身的に は影響がな い	①熱湯をかかつたような場合は衣服の上からすぐ水を かけて冷やす ②衣服が皮膚にくっついたときには、無理にはがさな いでその部分の衣服をきりとり残しておく ③冷水に浸したタオルで患部をつみ冷しつつける ④ひどい時には、頭を下げてねがせる ⑤患部以外は毛布でくるみ、すぐに医師の手当を受け る



丸山地区での防災訓練

日光で三番目の防災会

丸山地区の寮関係者で結成

安良沢町、新細尾町に次いで、日光で三番目の自主防災会が、このほど設立されました。

この防災会は「丸山地区防災会(高橋節会長)」と呼び、中宮祠の丸山地区の寮で結成している寮友会が母体となつて三十七会員によつて結成された自主防災会。昨年

年から設立委員会(高橋徳也委員長)のもとで準備が進められてきたもので、二月二十六日、中禅寺

ホテルで発会式をあげ、正式に発足しました。発会式には、県の消防防災課や市長、消防関係者らが出席、会の発足を祝い、防災用具の一部の贈呈などがありました。

防災訓練で活動開始

同防災会では早速活動を始め、三月十日には「中宮祠治山事業所付近に山火事が発生、丸山西地区

に延焼の恐れがあり、同地区に避難命令が発令された」——を想定に、防災訓練を行いました。

火災発生と同時に、避難誘導班は宿泊客や家族を安全な場所に誘導して避難させ、また、消火班は消火器を持ち出して建物への延焼を食い止めるためにけんめいの活動。交通班も避難経路や周辺の交通整理にあたるなど、各班とも見事な連携プレーを見せ、本番さながらの防災訓練になりました。

訓練終了後は、日光消防署員の指導で、ケガをしたときの応急手当のしかたなどの救護訓練をしました。

止血の方法

●救急の心得 ①出血があらば止める ②きずの表面を外界から保護する ③汚れたきずはきれいにする。

- すりきず 水道の水を流して、土や泥を洗い流してから周囲に薬をつけます。①流れる水道できず口をいためないように洗います。②きず口の周囲を赤チンまたはマージン液で消毒し、消毒したガーゼをあてて包帯します。きず口に直接ふれてはいけません。
- 非常に痛むときや、ひどいきずのときは、早く医師に見せましょう。
- 切りきず 出血が軽いつきは少し出血させて、血とともに「コミヤバイキン」を出してしまします。傷口が汚れていれば水道水で洗い、消毒したガーゼで圧迫し包帯します。出血が続けば早く医師の治療を。血のとまらないきず 止血が先決。成人では約一・五リットルの血を失うと危険です。
- ①きず口に清潔な布か新しいタオルをあてて包帯でしっかりとしばって圧迫します。(直接圧迫法) ②それでも出血が止まらないときは、直接圧迫法をしたまま、出血部と心臓の間の止血点を、指または手で圧迫して出血を止めます。